

ヴェリタス学習会通信 74

予定表カレンダー →



令和5年5月の予定

- ・月曜日 5月1・8・15・22・29日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 5月3・10・17・31日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
24日 ヴェリタス事務局 19:30～21:30
- ・木曜日 5月11・18・25日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
4日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・金曜日 5月5・12・24日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
19日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

4日(木)は、みどりの日で祝日のため、事務局で開会します。員弁老人福祉センターは祝日は休館です。

19日(金)は会館が貸し切りのため、事務局で開会します。24日は19:30からです

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がるZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

人は他人の助けをかりて生きるもの

人間生きていくためには、家族や他人の助けを借りなければいけません。無人島で生き抜く力は欲しいですが、地球上で本当に一人ぼっちになれば、生きる気力もなくすのではないのでしょうか。「それでも私は、僕は、生き抜いてみせる」とおっしゃる方は、この先の話は読まなくても構いません。立派に生き抜いてください。

状況を正確に説明し、自分の思いを正しく伝える力を

他人の協力を得て、世の中を渡っていくために、必要なことは何でしょう。人と仲良くやっていく協調性というのは大切だと思います。敵対している相手は助けしてくれません。自分の考えだけを押し付けるようでは、相手の協力は望めません。人が全部自分と同じ考えを持っていると思っははいけません。人の意見が自分と違っていると思ったことは、1度や2度ではないはず。そんな時でも、相手の意見を尊重しつつ、折り合いをつけて何とか過ごしてきたのではないのでしょうか。



人の言いなりになるのを勧めているわけではありません。人の意見を聴いたうえで、自分の思いや考えを正しく伝え、より良い方向に進んでいく努力をして欲しいのです。

誤解や説明不足が原因でトラブルが発生することがよくあります。それを避けるために、状況を正確に説明し、自分の思いや考えを正しく伝える力をつけてください。

教科としてではなく、生きる術^{すべ}として国語を学ぶ

圧倒的な才能を持つ芸術家は、いざ知らず、状況を正確に説明し、思いや考えを正しく伝えるためには、言葉にすることが必要です。

国語というのは、実はこの技術を学ぶ学問なのです。

語句や表現は、そのまま真似できます。もちろんふさわしいものを選ばなければいけません。ふさわしいものを選ぶのも、訓練が必要です。私も失敗しながら学んでいます。

文章の構成の仕方も、相手により良く伝える工夫です。人類が長年試行錯誤して築いてきた手法です。起承転結。序論・本論・結論。比喻や例を用いて説得を試みます。強調、倒置、体言止め、反復法、対句法、……。様々な技法を使い、説明、説得を試みます。

せっかく学ぶ様々なテクニック、使わない手はありません。「使ってやるんだ」という気持ちで学んでください。作文にも存分に組み入れてみてください。文章を漫然と読んで、漫然と書くことでは上達しません。時間の無駄遣いです。



悠長な話は聴いてくれないことも



ただし、動画さえも十数秒で終わらないと観てくれない、忙しい時代。小3のころから知っている小6の女の子によると、私の話は長いそうだ。「長いわ。もっと短く言って」と何度言われたことか。

聴いてくれないならば伝わらないので、次の手法が役に立つ。

結論を述べて、そののち理由や例を提示する。特に会話では、この手法を多用している。

三重県の県立高校の後期入試問題の国語には、資料を出され、テーマが提示されて、200字以内の作文問題が毎年出ている。前期試験の国語にも200字以上の作文が出る。書き方や内容に関して指示があり、2段落で書かせる年が多い。

いずれにしても、思いや考えがどうしたら相手に伝わるのかを、常に考え続けることが大切です。それを続ければ、きっとコミュニケーションの達人になれます。